

日本経営学会第85回大会予告	1	学会賞の推薦について	5
日本経営学会第86回大会情報	2	事務連絡事項	5
国際交流委員会からのお知らせ	2	コールフォーペーパー募集	6
機関誌編集委員会からのお知らせ	3	住所、所属機関等変更・訂正一覧	7
『日本経営学会誌』投稿規定	4		

このたびの東日本大震災におきまして、被害を受けられた多くの方々に衷心よりお見舞いを申し上げます。
この甚大な被害と影響に対応して、日本経営学会としても、できる限りの支援を進める所存でございます。また、被災された会員の皆様につきましては、学会事務局まで是非ともご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。
被害からの一刻も早い復興を、心よりお祈り申し上げます。

日本経営学会理事長 高橋 俊夫

日本経営学会第85回大会予告 2011.9.7～10. 於：甲南大学

石巻専修大学で開催の第84回大会以来総会での報告通り、第85回大会は、「リーマンショック後の企業経営と経営学」を統一論題として、甲南大学岡本キャンパス（兵庫県神戸市）において開催いたします。サブテーマには、①「現代企業の変容と課題：理念・戦略・管理」、②「現代経営学の存在理由と方向性」の二つの柱を設定しました。

①では、リーマンショック前後から変化の動きがみられる企業経営の理念・戦略・管理の各様相に関し、多面的深層的な考究を目指しています。具体的には、経営理念の有効性とトップ・リーダーシップ、環境およびBOPビジネスのグローバルな進展、M&A戦略の再考、社会的責任（CSR）の経営戦略、社会的企業（又は、社会責任投資）の現状と可能性、さらには人的資源管理の新展開（例、ダイバーシティ・マネジメントやワーク・ライフ・バランスなど）、自動車などのリコール（品質管理）問題、等々について、幅広い議論を行う予定です。②では、リーマンショックによって企業経営で変化したものと変化しないものの認識をふまえながら、経営学研究における自らの学問的なアイデンティティの確認と今後の方向性を問うことを目指します。社会科学の一分科としての経営学固有の存在理由や存在意義とは何か、経営学における知識発見的な研究方法は如何にあり得るのか、経営実践にも寄与し得る経営学研究の在り方（規範性、先見性）、等々について議論を行う予定です。

自由論題報告者につきましては、各部会推薦者およびCFP方式応募者をお願いすることになっています。また、これまで同様のペーパー展示、特別セッションを行う予定です。

（第85回大会プログラム委員長代行 廣瀬 幹好）

第85回大会委員長からの一言

日本経営学会第85回全国大会を、2011年9月7日（水）～9月10日（土）の日程で、昨年4月に開設50周年を迎えた甲南大学経営学部（兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1）で開催させて戴くことになりました。

統一論題「リーマンショック後の企業経営と経営学」の下、サブテーマ①「現代企業の変容と課題：理念・戦略・管理」、サブテーマ②「現代経営学の存在理由と方向性」に関し、皆様方の忌憚のない討究の場にして戴ければ幸いに存じます。昨今の大学関係者は、大学改革や教育改善に追われ、ややもすると足下の研究自体を疎かにしがちですが、そうしたなか、2008年秋のリーマンショックは実業界だけでなく学界に対しても少なからぬ影響を与えていると思われます。やや時を経た今日、企業経営の現状分析を踏まえた向後の課題や、経営学とは一体何なのか、を小括しながら、リーマンショックによって「何が変化し、何が変化しなかったか」を見極めることが大切かと存じます。

神戸は、研究の合間の息抜き場としても好適です。運が良ければ？、六甲山麓ではイノシシの夫婦や親子に遭遇することもできますし、淡路島や赤穂方面にまで足を伸ばし爽快な瀬戸内を堪能することもできます。懇親会場は旧神戸居留地にあるメリケン波止場の海辺ホテルを用意させて頂きました。夏の夜風と観覧車ネオン等に寛ぎのひとときを感じて戴ければ幸いです。

なお、会場の岡本キャンパスでの登録受付の際には、甲南大学経営学部 50 周年記念論文集『経営学の伝統と革新』（千倉書房）を先着順で謹呈いたします。部数限定ですので、御希望者は早めの御到来をお願い申し上げます。至らぬ点が多々あるかと存じますが、下記の大会委員が皆様の御参加を心からお待ち申し上げます。

馬場大治（事務局長）、布上康夫、庭本佳和、中丸寛信、林 満男、長坂悦敬、廣山謙介、尾形真実哉（順不同）

（第 85 回大会委員長 河野 昭三）

日本経営学会 第 86 回大会情報

日本経営学会第 86 回大会は、2012 年 9 月 6 日（木）～9 日（日）の日程で、東京都世田谷区にある日本大学商学部において開催される予定です。初日の 9 月 6 日（木）は理事会と常任理事会、各種委員会が行なわれ、統一論題と自由論題などのプログラムは 9 月 7 日（金）からスタートいたします。

プログラム委員会には、小阪隆秀（東総務）・大平浩二・國島弘行・吉原正彦・沼上幹が理事会選出委員として参加し、松本芳男・桜井徹が大会主催校である日本大学商学部を代表する委員として参加します。12 月に実施いたしましたアンケートを参考にしながら、現在プログラム委員会で統一論題テーマを検討しております。大きく変貌を遂げている世界の資本主義を視野に入れながら、企業経営を考えられるようなテーマを模索している最中です。

統一論題の柱の数や、自由論題枠、ワークショップの数など、例年通りに行ないたいと考えております。また積極的に英語セッションも盛り込みたいと考えております。現段階では詳細が決まっておりますが、また具体的に決まりましたらご報告し、会員の皆様のご協力をお願いしたいと考えております。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

（第 86 回大会プログラム委員長 沼上 幹）

国際交流委員会からのお知らせ

IFSAM 評議会 2011 の開催と派遣

IFSAM（経営学会国際連合）評議会が 2011 年 6 月 30 日、7 月 1 日の 2 日間、カナダのモントリオールで開催されます。IFSAM 評議会は、IFSAM の運営組織で毎年、開催されています。今年は、カナダ経営学会 (The Administrative Sciences Association of Canada : ASAC) が、開催受け入れ機関となっています。IFSAM 評議会 2011 は、モントリオールのダウンタウンにある UQAM キャンパスで開催されます。

今年の IFSAM 評議会 2011 では、来年の 2012 年にアイルランドで開催される IFSAM 世界大会 2012 の開催要項、準備状況について審議されます。また、2014 年に開催予定の IFSAM 世界大会 2014 を日本で開催することが、提案・審議されます。

IFSAM 評議会 2011 へ日本経営学会からは、高橋俊夫理事長、夏目啓二常任理事、石井真一幹事の 3 名が派遣される予定です。ここでの審議・決定の内容については、2011 年 9 月 7 日～10 日に開催予定の日本経営学会第 85 回全国大会（甲南大学）及び『学会ニュース』にてご報告します。

（国際交流担当常任理事 夏目 啓二）

機関誌編集委員会からのお知らせ

1. 『日本経営学会誌』第26号は、投稿原稿10本、書評2本の掲載で、2010年10月末に刊行されました。1号当りの掲載本数は最近多めとなっております。2010年4月以降の投稿及び審査状況については、投稿論文が27本、このうち採択が6本、不採択9本、審査中が11本、取り下げが1本で、採択率は40%でした。書評は4点（採択は1点）ありました。（2011年3月10日現在）。その内、9月以降の下期に19本の論文、3点の書評の投稿があり、現在、2011年5月刊行に向けて審査等の作業をすすめております。会員の皆様の積極的なご投稿をお願いいたします。なお、2009年の投稿論文数は39本と多く、採択率は28.6%でした。今下期に審査対象となった15本の審査期間は4－5ヶ月ほどを費やしております。（09年は平均129日）。審査は厳正を期し、再修正・判定などで査読者の方々には多大のご尽力を頂いております。改めて会員諸氏のご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。
2. 書評については学会誌23号（09年5月発行）から掲載しております。書評の対象候補は「日本経営学会会員の学術性の高い図書（単著もしくは共著）で、書評希望申し入れの時点で、原則として刊行後1年未満」の図書です。応募の際には『日本経営学会誌』掲載の「書評対象候補図書応募要領」をご一読ください。希望される会員（自薦。他薦）は、図書2冊を添え、所属・連絡先等を明記のうえ機関誌編集長にご提出ください。応募された候補図書は、著者の所属等により東日本または西日本の編集委員会が担当委員を委嘱し、学術性等を重視して判定し、採択されれば、担当委員により適切な書評者が推薦されるという手順を踏みます。
3. 論文の投稿について、編集委員会からお願いがあります。

第1は、投稿文字数厳守のお願いです。これまで幾度もお願いしておりますが、投稿者の氏名、住所、所属機関などを記した表紙に「1行文字数×行数」（行数は本文行数と注・図表・文献リストを換算した行数とを含む）を明記し、自己点検をお願いいたします。修正論文においても同様に明記してください。なお、2段組はお避け下さい。不備が目立つ場合には再提出をお願いすることがあります。文字数の厳守は、投稿機会の公平性の確保、速やかな編集作業、日本経営学会の財政負担軽減などのためにも必要なことをご理解ください。

第2は、投稿者氏名の秘匿についてのお願いです。投稿規定では「原稿自体の冒頭には、論文題名、キーワード5項目を記入し、氏名は絶対に記入しないこと」と、原稿から投稿者氏名を秘匿することにしてあります。この他にも、引用・参考文献に複数以上の投稿者の自著を掲載したり、指導教員などへの謝辞、科学研究費補助の課題番号の記載など、投稿者を推認できる記述がないかどうか点検をお願いします。これらの事項は、採択が決定した後、完成論文を送付していただく段階で追記していただくことが可能です。

第3に、論文題目についてのお願いです。これまでも機関誌の編集後記で編集委員長が指摘されたことがあります。サブタイトルを加えると論題の字数が40－50余字にも上るケースが多くなっております。論題の適切な設定にかかわることでもあり、字数だけの問題ではないと思いますが、投稿に際しては是非ご一考下さい。

第4は、共著論文の投稿資格についてです。単著論文での投稿資格は、日本経営学会会員であることですが、共著論文の場合も、共著者全員が日本経営学会会員である必要があります。また、当該年度の会費を納入されていない方の投稿論文は審査に入ることができませんので、ご留意ください。

第5に、採択が決定した場合のことですが、完成原稿を提出していただく際には、査読者による修正指示や助言を十分に考慮していただくことになります。さらに、英文による要旨はくれぐれもネイティブ・チェックを受けてからご提出下さい。以上、ご留意とご理解を頂きますよう、お願いいたします。

（機関誌編集委員長・上田 慧）

『日本経営学会誌』投稿規定 (2010.9.2 改正)

1. 投稿者は、原則として日本経営学会の会員とする。
2. 投稿原稿は、日本経営学会の研究目的に則したテーマのもとに日本語あるいは英語で書かれた未公開論文とする。
なお審査過程にある投稿論文は、同時に他機関の各種出版物への投稿およびWEB等による公表をしてはならない。
3. 掲載された論文の著作権は、日本経営学会に帰属する。
4. 本誌に採択・掲載された論文を執筆者が他の出版物等（インターネット等による情報システム；WEBを含む）に転用する場合には、予め文書によって日本経営学会の了承を得ると同時に、その出版物等に『日本経営学会誌』(No., 刊行年月)に掲載された論文であることを明記しなければならない。
5. 原稿は、原則としてワープロによる横書きとする。本文・注・図表・文献リストを含め、日本語の場合は20,000字以内（但し、注と文献リストの文字数は0.64掛けで計算し、A4で40字×40行×12.5枚以内を厳守）、英語の場合は6,000語以内（A4でダブル・スペース、12.5枚以内を厳守）とする。
6. 図表は本文での挿入箇所を明示して、原稿の終わりに入れる。図表は下記の要領で原稿字数に換算し、原則として合計で1ページ以内とする。
 - ・刷り上がり2分の1ページ大の図表：19行×44字＝836字
 - ・刷り上がり4分の1ページ大の図表：10行×44字＝440字（いずれもタイトル1行と注記1行を含む）
7. 引用文献については、本文では（著者名と出版年）で表示し、原稿の終わりに文献目録をアルファベット順に表示するものとする。
8. 投稿原稿に、論文題名、投稿者の氏名、住所、所属機関、肩書き、電話・FAX・E-mail等の通信番号および1行当たりの文字数（40字）と行数（注・図表・文献リストは上記の換算による）を記入した表紙をつける。原稿自体の冒頭には、論文題名、キーワード5項目を記入し、氏名等は絶対に記入しないこと。
9. 投稿に際しては、原稿のコピー及び論文要旨（原稿が日本文の場合は約1,600字、同英文の場合は約600語）を各5部提出すること。
10. 執筆に際しては、ホームページに掲載されている「執筆要領」を参照すること。
11. 投稿の締切は特に設けない。投稿された原稿は、投稿時点以後最初に開かれる編集委員会で処理される。
12. 投稿原稿の採否は、編集委員会が委嘱する2名のレフリーの審査に基づき、編集委員会が決定する。
13. 採用が決定された原稿については、改めて当初の形式に則した最終原稿、英文要旨（約300語で、ネイティブ・チェックを受けたもの）、それらを収録したフロッピーの提出が求められる。
14. 採用原稿の執筆者校正は初校のみとし、校正時の原稿改訂は原則として認めない。
15. 原稿料は支払わない。ただし、30部の抜き刷りを無料で送付する。
16. 投稿原稿などは一切返却しない。
17. 投稿先は編集委員長とする。

投稿先 編集委員長 上田 慧

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

同志社大学商学部

TEL：075-251-3695（直通）

FAX：075-251-3061

E-mail：saueda@mail.doshisha.ac.jp

第27号の刊行予定は2011年5月です。

原稿は常時募集しております。

学会賞の推薦について

本年も学会賞の推薦を募集いたします。同賞の規定につきましては、『学会ニュース』2004年9月号3～4ページあるいは学会のホームページ (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsba>) に掲載されております。本年度は、2010年1月1日から2010年12月31日までに出版された刊行時45歳以下の会員による和文もしくは英文の著書および同期間に刊行された『日本経営学会誌』に収録された論文が対象になります。論文部門は会員による推薦がなくても自動的に候補作になりますが、著書部門の候補作になるためには会員の推薦（もしくは審査委員の推薦）が必要です。自薦・他薦どちらでも結構ですので、すぐれた著作の推薦をお願いいたします。推薦文書の形式は学会のホームページからダウンロードすることが可能です。また、この形式を使用しない場合でも、同様の情報を含むワープロ文書であれば受け付けます。2011年5月31日までに推薦文書を学会事務局宛にお送りいただければ幸いです。

なお、審査結果の発表と表彰は9月の大会の総会で行い、受賞者には表彰状と盾が授与されます。

(学会賞審査委員長 小阪 隆秀)

事務連絡事項

* 会員名簿記載事項が事実と相違する場合は、文書の郵送その他学会事務の処理に支障をきたしますので、その変更、特に住所の変更がありました場合には、すみやかに下記学会事務局宛ご連絡下さい。また、住所等の変更は学会ニュースへの掲載を原則としています。掲載を希望されない場合は、ご連絡いただく際に、その点を必ずお伝え下さい。

〒186-8601 東京都国立市中2-1 一橋大学大学院 商学研究科
第二研究館 商学研究室気付 経営学部門共同研究室内
日本経営学会
TEL 042-580-8571

* 経営学論集（第81集）は会費納入会員に榊千倉書房より9月に配送いたします。また、会員名簿作成に向けて、後日アンケートを郵送させていただきますので、ご回答をお願いいたします。

* 日本経営学会の公式ウェブサイトでは学会に関するあらゆる情報（大会案内、各部会例会案内、入会資格・申込み用紙、学会ニュースなど）を掲載しておりますので、是非ご確認ください。

なお、年2回発行の学会ニュースではカバーできない急ぎの事項も随時ホームページに掲載いたしますので、折にふれてホームページをご確認いただければ幸いです。(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsba/index.html>)

* 学会事務局の事務員の勤務は、月・水・金曜日の10時から17時まで（但し12時から13時までは昼休み）ですので、電話連絡に関しましては、月・水・金曜日上記時間帯にお願い致します。

* シニア会員制度

資格を満たす会員でシニア会員への変更を希望される方は、事務局までご連絡下さい。

* 学会費について

日本経営学会の学会費は、2011年3月現在、一般会員10,000円、シニア会員5,000円です。会費納入に関する口座番号等の情報につきましては学会ホームページ（トップページの「会費納入について」をクリック）をご覧ください。

* 住所変更について

住所変更は電話でも承っておりますが、葉書など郵送でお知らせいただくと、住所などの誤入力などで会員の皆様にご負担をかけることが少なくなると思われます。ご協力いただければ幸いです。

(事務局幹事 加藤 俊彦)

自由論題の報告者を CFP 方式で募集します

各分会推薦により自由論題報告者を決定する方式とは別に、各会員の自発的応募によりプログラム委員会が自由論題報告者を審査選考する方式を採用しています（いわゆるコールフォーペーパー：CFP 方式です）。

一般会員はいうまでもなく、とくに大学院生会員に対して報告機会を拡充することを意図しております。約 35 名を CFP 方式にて選考します。ふるってご応募ください。

〔募集要領〕

- 1) 設定報告者数 一般会員 20 名、大学院生会員 15 名、合計 35 名
- 2) 報告討論時間 1 報告につき 一般会員 報告 25 分＋質疑 15 分＝40 分
大学院生会員 報告 15 分＋質疑 10 分＝25 分
- 3) 応募申込締切 一般会員 2011 年 5 月 6 日（金）
大学院生会員 2011 年 5 月 6 日（金）
- 4) 報告申込先 日本経営学会第 85 回大会プログラム委員会事務局
〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本 8-9-1
甲南大学 日本経営学会第 85 回大会準備室（513 研究室）
河野昭三（こうの・しょうぞう）
大学 TEL：078-435-2274（研究室直通） FAX：078-435-2543（事務室）
E-mail：sho3kohno@yahoo.co.jp
- 5) 申込書類様式
A4 サイズ用紙 1 枚に、氏名、所属（現職・職位）、連絡先、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレスを明記し、報告テーマおよび報告要旨（問題意識、論点、視点）を横書き 40 字×30 行（1,200 字）以内にまとめ、それを 7 部コピーして提出してください。なお応募者のあて先を記載した返信用はがき 1 枚を必ず同封してください。
- 6) 諾否審査
別に定める選考基準により、プログラム委員会にて審査・選考し、5 月中旬までに決定し、はがきで通知します。
- 7) 大会期日の関係から大会主催校が作成する『報告要旨集』用の原稿締切は 2011 年 6 月 27 日（月）必着となります。許諾通知から原稿締切までは極めて短期間です。応募者は、その点をあらかじめお含みおきのうえでご応募ください。

ペーパー展示会の参加者を募集します

- 1) 論文の抜刷やワーキングペーパーによる大会参加です。会員であれば、事前に掲示希望の届けをすれば、論文の抜刷やワーキングペーパーを自由に持ち込んで掲示・配布することができます。
- 2) 設定件数に制限はありませんが、会場設営の問題もありますので、参加希望者は 2011 年 7 月下旬までに、大会当番校まで、氏名、所属、連絡先、電話番号などを明記し、E-mail（sho3kohno@yahoo.co.jp）甲南大学 日本経営学会第 85 回大会準備室までご連絡ください。なお、会場に余裕があれば、大会当日の受付も致します。